

散歩道

自宅近く川沿いの道が私の散歩コースである。

川のせせらぎを聞きながら歩くと、心がなごみ一服の清涼感を覚える。

そんな中 毎日お会いする一組の老夫婦がいる。

杖を突いており、しっかり腕を組んで、寄り添うように散歩をしている。

あのように永年いたわり合ってやってこられたのだなと思うと、

何か余計な口出しの様な気がして「元気に頑張ってくださいね」と、どうしても言えない。

それほどお二人の姿はほほえましい限りであり、じっと見守ってあげたいと思う。

私もこうありたいと思わせる、すばらしいご夫婦である。

この散歩道を毎日毎日草刈りや清掃をしているお年寄りがいる。

手押し車を改造し、日除けのビーチパラソルや釜・ジョウレン・スコップ・熊手等など

の道具をセットし、まるで弁慶の七つ道具を思わせる井出たちで、

毎日日課のようにやって来てくもくと作業している。暑いさなかご苦労様、頭の下がる思いである。

おかげで気分良く散歩できる。本当にありがとう。ありがとう。

ここは当然犬を連れての散歩道である。こんなに愛犬家がいるのかと思うほど

次から次へと愛犬と散歩に来る。

最近気がついたことであるが、犬どうしが素知らぬ振りしてすれ違うことである。

私は犬を飼っていないのだが、昔の犬は飛びかからんばかりに吠えあつたものだ。

犬の社会も変わったのかな。

そんな中、放置された犬のフンを拾って始末している方がいる。

自分の愛犬のフンすら処理できない人がまだまだいる中、これはできることではない。

姫路市では一昨年より『犬のフン放置撲滅運動』を展開している。

みんなが気持ちよく散歩できるように心がけたいものだ。

散歩は健康のための運動だけでなく、人々と触れ合う場であると痛感している。

実行委員 福島正勝